

主催：公益社団法人 日本建築家協会沖縄支部

建築見学会

写真：鳥村鋼一

申し込みは



こちらから

CPD 2単位

どなた
でも
参加可

参加費(バス代込)

一般 3000円

学生 1000円

昼食は別途各自負担

2026

2.14 SAT | 9:30-15:30

【問い合わせ・申し込み先】

公益社団法人日本建築家協会沖縄支部

電話：098-943-8949

Mail：info@jia-okinawa.org

申し込みフォーム

<https://forms.gle/eBdU6vh5oN43epC98>

日本建築士会連合会 建築作品賞 優秀賞 受賞作品
ハウス・オブ・クリエイターズ

集落の風景を後世に残す

沖縄県名護市の一戸建て住宅です。集落の風景を後世に残していくことを目指して赤瓦をはじめ沖縄家屋の伝統的な要素を取り入れながら住まい手だけでなく集落の人々が集える開放的な空間がつくり出されています。



建築家 宮内智久

(株) 宮内智久建築都市研究所

Archisan.com



写真：鳥村鋼一

【建築見学会&スペシャルトーク】

宮内智久設計「ハウス・オブ・クリエイターズ」見学 ＋ 名護市庁舎の継承を問う建築家対談

2026年、名護の地に新たな息吹を吹き込む建築「ハウス・オブ・クリエイターズ」設計者・宮内智久氏自らの案内により、その伸びやかな空間構成とクリエイティビティの源泉に触れる見学会を開催します。見学後は、沖縄建築の最高傑作の一つ「名護市庁舎」へ。今なお解体と保存の議論が続くこの場所で、沖縄建築の重鎮・根路銘安史氏と宮内氏を迎え、沖縄建築家・美濃祐央氏のコーディネートによるスペシャルトークを行います。最新作の「ハウス・オブ・クリエイターズ」を体感した直後だからこそ見えてくる、名護市庁舎の真の価値と未来への継承。名護の風を感じながら、これからの建築のことを一緒に考えてみませんか？

■ スペシャルトーク登壇者
宮内 智久（建築家 | 「ハウス・オブ・クリエイターズ」設計者）
根路銘 安史（建築家 | アトリエネロ代表）

■ コーディネーター
美濃 祐央（建築家 | mino archi-lab）

■ 参加対象： 建築士、建築専攻の学生、建築に関心のある方

■ 定員： 30名（事前予約制・先着順）

■ 参加費： 一般3000円 学生1000円

■ タイムスケジュール

9:30 てだこ浦西駅集合 10:00 高速バスにて移動

11:10 - 12:30 | Part 1：ハウス・オブ・クリエイターズ見学会
宮内智久氏による設計解説。最新の設計思想を現場で体感します。2班に分かれて、隣接する古民家で沖縄そばランチ。

13:00 - 14:30 | Part 2：スペシャルトーク「名護市庁舎を解く・開く・継ぐ」
会場：名護市庁舎、（雨天時トーク：名護市産業支援センター）
美濃祐央氏を進行役に、宮内氏と根路銘氏が名護市庁舎の空間と存続について多角的に議論します。

15:30 てだこ浦西駅にて解散

宮内 智久（Miyauchi Tomohisa）

建築家。1級建築士、米国建築家資格。2004年ハーバード大学GSD大学院修了。2007～2017年『a+u 建築と都市』副編集長。2012～2020年 シンガポール国立大学環境デザイン学部建築学科上級講師。2012年～現在、宮内智久建築都市研究所主宰。京都美術工芸大学美術建築学部建築学科教授。東京を拠点に、既存建築の価値を再定義するプロジェクトや、都市の流動性に呼応する設計活動を展開。広域的な視点から、建築の「使い続ける価値」を提唱している。

名護市庁舎



すばすば屋我地

